

Argentina

社団法人 日本アルゼンチン協会 会報

2002年4月

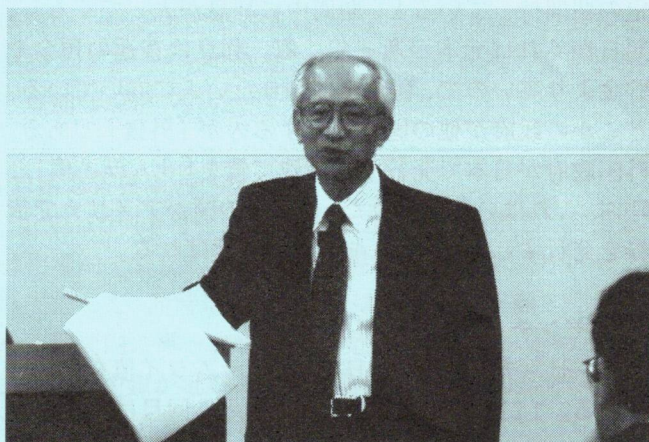
経済危機乗り切りの課題	1	移住者少女の作文	6
サムライ債Q&A	2	アルゼンチン二世のど自慢日本一	7
ナシオン編集局長	5	日本に咲くセイボ	8

経済危機乗り切りの課題

小林 晋一郎

深刻な経済危機に直面しているアルゼンチン政府は、一連の施策を発表したが（後載「最新アルゼンチン情勢」参照、）この未曾有の危機解決には国際金融支援が不可欠であると内外で等しく認識されている。昨年12月から輸入が止まっていたため医薬品不足が深刻化し、他方、世界の食料庫にもかかわらず食事を食べられない国民の出現や失業の増大・貧困層の拡大など「アフリカ化」の様相を示現し、早急な国際支援が必要だとの意見が現地では聞かれた。しかし、ワシントンではアルゼンチン危機は経済政策の枠組みの問題であり、持続可能なマクロ経済政策を策定することが国際支援の前提条件であると、同じ国際機関でも現地とワシントンでは危機に対する温度差が感じられる。国際通貨基金（IMF）のアルゼンチンへの支援を可能とし、金融支援交渉を開始するには多くの困難な問題に解決策を示し持続的成長を齎す経済政策を策定しなければならない。現在、アルゼンチン政府が抱えている課題と現状を眺めてみた。

- * 連邦政府と州政府との間で交付税配分と州財政赤字削減に関する合意が成立。重要な点は最低配分保証額を廃止し税収にスライドした配分としたことである。これで2002年の連邦政府予算の作成が可能となり予算が成立した。しかし、予算編成の前提条件として今年の経済成長率予想をマイナス4.9%としているが、IMFはマイナス8%としており、IMFの予想を受入れれば予算の修正を余儀なくされる。
- * 銀行の預金・貸出のペソ化に伴う銀行が被る損失と海外調達原資による貸出のペソ化が引起すカレンシー・ミスマッチのリスク対応につき国債で補償する方針が



講演する小林晋一郎さん

出されたが、事務手続き、損失額の算定など未定である。経済危機とペソの為替相場大幅切下げで不良債権の増大が見込まれるが、金融システム危機を回避しなければならない。流動性危機に陥った最大の地場民間銀行ガリシア銀行は、中央銀行および外国銀行が金融支援する意思表示をしているが、今後の帰趨を注目しなければならない。

- * 電話・電気・鉄道・上下水道など公共料金の算定方式を変更しペソ化することに伴う民営化企業との契約更改交渉は漸く始まったが、これら企業は海外からのドル直接借入が大きく、経営の根幹にかかる問題だけに困難な交渉が予想される。
- * 昨年12月、金利負担軽減を目的に国内機関投資家の保有するドル建て国債約550億ドルを税収担保の低金利のドル建て政府借入に交換したが、この借入を債務

のペソ化の方針に照らしどのように扱うのか、ドル借入のままとするのかペソ化するのか決めなければならない。

- * 今回の為替切下げが成功するには、切下げによる物価上昇を抑制しインフレを阻止し切下げがアルゼンチンの国際競争力向上に結び付かなければならない。今後の通貨・金融政策はどうなるのか。
- * 企業・家計共にペソ不足の状況で、経済の血である金^{かね}が経済に回らず経済は窒息状況である。凍結されている定期預金を活用するため、凍結定期預金で不動産・自動車などの購入を認め、また、凍結定期預金を新規

に発行するペソ建て国債・ドル建て国債と交換することを決めたが具体化はこれからであり、その効果は予測しがたい。

- * 現在、一時的に支払停止の状況にある政府の対外債務をどうするのか。IMFとの交渉に目処がついたところで海外投資家との交渉が始められるだろう。サムライ債も他のアルゼンチンの対外債務と一緒に扱われると考えられる。

(3月31日)

(こばやし しんいちろう、当協会理事、
東京リサーチインターナショナル客員研究理事)

サムライ債 Q&A

サムライ債について、専門家の話をまとめた。

編集部

[サムライ債とは何か?]

日本政府が日本国内で発行する債券は「国債」だ。一定の期間持っている、期間中に利息が入ってくるし、期日がくれば元本が還ってくる。利息は普通の預金や貯金より高いので、利殖をはかりたい人に向いている。どこかの政府が他の国で発行するのが「外債」である。外国政府が日本で発行する円建て債を「サムライ債」と呼ぶ。これはいわば愛称だ。どこかの国がアメリカで債券を発行すれば、「ヤンキー債」と呼ばれる。

[アルゼンチンのサムライ債は?]

アルゼンチン政府は、日本で6回サムライ債を発行している。1口額面100万円。1回目と2回目は償還が終わった。第3回債と第4回債は、1999年(平成11年)に、第5回債と第6回債は2000年(平成12年)に発行された。未償還の残高は4回分合わせて1915億円。1年に2回利息を支払うことになっている。利回りは、4.85%から5.40%。「ハイリターン」(利息は大きい)だが「ハイリスク」(危険度も高い)でもある。それは売り出しの時の目論見書にも書いてある。これまではきちんと支払われてきたが、去年2001年12月23日にアルゼンチン政府が、対外債務の支払を一時停止すると一方的に宣言したため騒ぎになった。

[どういう人がサムライ債を持っているのか?]

日本では、一般の預金利率が極端に下がったこともあって、各地の金融機関や公益法人が高利回りのサムライ債をだいたい買ったし、個人の投資家も買った。その数は何万人にもものぼっている。アルゼンチン政府が支払の一時停止を宣言したあとの初めての利払い日は3月26

日だったが、結局支払はされなかった。利払いの猶予期間は4月25日まで30日間認められているが、この期間に利払いがなされる可能性はきわめて低い。この次の利払い日は6月14日、17日、20日だが、支払があると見る人はまずいない。

[デフォルト宣言とは何か?]

債務者、この場合アルゼンチン政府が、一方的に支払の一時停止を宣言するのが「モラトリアム」だ。これに対して、債権者、この場合サムライ債の保有者が、「債務者に債務の不履行があり、不利益を受けている」と公式に宣言するのが「デフォルト」だ。

ただ、上で説明したように日本には何万人もの債権者がいるから、みんなが集まって総会を開きみんなの意思統一をはかるのは容易なことではない。従って、この債権関係の事務処理を委任されている管理会社(東京三菱銀行と新生銀行)が債権者の意向をまとめて行動することになる。

[デフォルト宣言をするとどうなるのか?]

元本や利息の支払条件の変更を通じて、弁済請求ができる。つまり、「買った時と条件が変わってもよいから回収したい」とクレームをつけることができる。デフォルト宣言は、その債券が不良債権になったことを公式に発表することであり、機関投資家は、引当金の計上や損切りの会計処理をすることになる。デフォルト宣言をすると同一債務者の債務で未だ期日の到来していない債務までが債務不履行の状態になる。これは債務者にとって重大なことだ。

[投資家が出した金は返ってくるのか?]

最近の似たような例としては、エクアドルの外債がある。エクアドルの場合は、主要輸出品のパナナ、石油の国際価格が下がり、エル・ニーニョ（気象変化）で農産物が大打撃を受けて経済が混乱し、1999年に外債の支払不能宣言をするに至った。翌年、「元本を35%減らす、利息を当初より下げる、償還期限を延長する」ことで、債権者と合意ができた。言ってみれば、外債を買った債権者が自分の権利を何割か削って収拾に応じたというこ

とになる。

ロシアの場合は、1998年に、外債の支払不能宣言を出した。格付機関が、ロシアの債務不履行格付けを解消したのが2001年半ばで、いわば国際金融市場に復帰するのに約3年かかったことになる。アルゼンチンのサムライ債がどうなるかはひとえにアルゼンチン経済がどう回復して行くかにかかっている。

(文責 河崎)

■ ドキュメント

最新アルゼンチン情勢

政治・経済の主な出来事 (3月29日現在)

小林 晋一郎

政府は国際金融支援の交渉を可能とすべく、IMFの意向に沿って為替制度の変更や予算の成立など困難な状況下で諸施策を打ち出した。しかし、預金引き出し制限に抗議する市民のナベ叩きデモは引き続き行われている。

「預金引き出し制限に違憲判決」

2月1日、最高裁は預金引き出し制限が違憲であるとの判決を下した。これを受け、当初2日に発表される予定であった新経済政策は修正を加え3日に発表された。国民のペソ預金引き出し殺到とドルへの転換の動きを抑制すべく2月4日（月）から8日（金）まで為替市場は閉鎖され、11日（月）に漸く再開された。

「経済のペソ化」

2月3日、レニコフ経済大臣は新経済政策を発表、また同日付でペソ化に関する法令第214/2002号が公布された。全てのドル建て・外貨建ての債務はペソ化される。金融システムにあるドル建て債務は1ドル=1ペソでペソ化される。金融システムにあるドル預金は1ドル=1.4ペソでペソ化される。ペソ化された債務と預金は消費者物価指数に基づき中銀が毎日発表する係数「参照安定化指数」により調整され、金利は自由に定められる。3万ドルまでの定期預金はドル建ての国債（期間10年で金利2%p.aと期間10年の一括償還、金利LIBORプラス1%p.aの2種類がある）と交換できる。全ての定期預金は、金額の制限なくペソ建て国債（期間5年、金利3%p.a）と交換することができる。国債発行予定額は、外貨建ては210億ドル、ペソ建ては270億ペソで、交換期限は4月15日。

金融機関の保有外貨は1ドル=1.4ペソで中銀に預託され、外貨交換業務は禁止された。引出し規制対象の定期預金には証書が発行され、同証書で不動産・自動車など購入することができる。給与・年金の口座の預金引出し規制は廃止された。

「自由為替相場制へ移行」

政府は2月8日付法令第260/2002号を公布し、二重為替相場制を廃止し単一自由為替市場を創設、2月11日より実施した。同時に、輸出業者は輸出外貨を商工庁の定める期間内に単一為替市場で売却する義務を定めた。輸入業者は中銀が定める要件を満たし中銀の同意を取得の上、輸入決済外貨を購入する。

「連邦政府と州政府との財政改革合意」

2月27日、長く連邦政府の懸案となっていた州政府との財政改革合意が成立、同日、合意書が調印された。従来、各州に対し連邦政府が交付している税収配分につき、最低配分枠を廃止、それを補うものとして金融取引税収入の30%を配分することとした。各州は州政府予算の赤字の60%削減を確約、各州政府の有する金融機関からのドル建て借入を対米ドル当り1.40ペソでペソ化し、金融機関に対しては16年もの国債を補償として交付することを決めた。

「2002年予算の成立」

3月1日に下院で可決された本年の予算案が、5日、上院で承認され予算法が成立、レニコフ経済大臣は早速来亜中のIMFミッションと金融支援交渉を再開した。特筆すべき事項として、経済活動の落ち込みによる税収

減、公務員給与および年金の13%削減継続、デット・スワップと対外債務支払いの停止による金利支払いの削減などが挙げられる。予算の内容は次の通り。

* 前提（カッコ内は前年実績）

実質 GDP 成長率	△ 4.9% (△ 3.7%)
インフレ率	14.0% (△ 1.4%)
輸出	45,945 百万ドル (31,312 百万ドル)
輸入	30,312 百万ドル (27,656 百万ドル)

* 歳入（カッコ内は前年予算、単位 100 万ペソ）

税収	22,262.4 (26,330.0)
社会保険料	10,214.3 (9,637.4)
その他経常歳入	3,052.3 (3,519.0)
資本収入	366.4 (199.5)
歳入合計	39,895.4 (39,486.4)

* 歳出（カッコ内は前年予算、単位 100 万ペソ）

消費（給与など）	7,890.4 (7,965.7)
金利支払い	5,884.9 (10,903.8)
社会保障	17,243.6 (16,552.6)
交付金	12,068. (10,903.6)
その他	2,730.7 (3,895.1)
歳出削減	2,973.5 (0)
歳出合計	42,844.5 (50,220.8)

「輸出税の創設」

炭化水素の輸出には 20% の輸出税が課せられているが、新たに 3 月 4 日付経済省決定第 11/2002 号により一次産品には 10%、工業製品には 5% の輸出税が課税されることとなった。これにより 14 億ドルの税収を見込み、社会保障費の財源確保と財政均衡のための暫定措置とされた。

「銀行補償」

政府は、銀行の預金と貸出のペソ化により銀行が被る損失を補償するために銀行に国債を交付することを 3 月 12 日付法令第 494/2002 号で発表。そのため、米ドル建て国債（発行予定額は 90 億ドル、期間 10 年、金利 2%p.a）とペソ建て国債（発行予定額 10 億ペソ、期間 5 年、金利 3%）を発行することを明らかにした。各行への補償金額や手続きは中銀が定める。

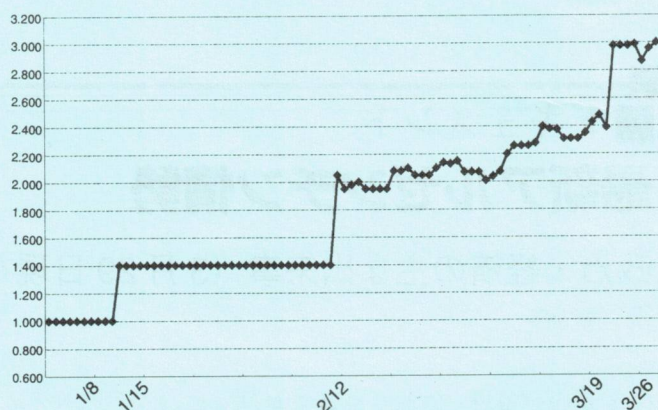
「インフレ率」

ペソ切下げに伴うインフレ再燃が懸念されるどころ、国家統計院の発表で消費者物価上昇率は 1 月 2.3%、2 月 3.1% で 2 か月累計 5.4% と政府予想の 7% を大きく下回った。政府は物価上昇を抑制すべく輸入関税の引下げを検討している模様。

「為替相場」

預金の引出し制限や為替取引の規制からペソの対米ドル相場は実勢を反映しているとは云えないが年初から

の相場推移を以下の図で示した。3 月 25 日に両替商でドルの売り相場が 1 ドル 3.90 ペソを示現、金融当局はペソ相場の急落に対処すべく、金利の引上げ、ドルリンク定期預金の創設、金融機関でのドルの中銀委託による中銀勘定での売却、新規定期預金に対する預金準備率の 40% から 5% への引下げ、輸出外貨売却期間の 15 日から 5 日への短縮、輸出外貨を直接中銀へ売却する選択肢、銀行の外貨持ち高限度を資本勘定の 5% に設定、など一連の施策を発表した。ただ、IMF の意見もあり中銀が市場に外貨売却で直接介入することは控えている。



「ガリシア銀行」

経済危機の中で預金者の政策不信に起因する預金流出の影響を受けて経営破綻の懸念が噂されていた民族系最大の銀行であるガリシア銀行（本店ブエノスアイレス市、エスカサニ頭取）は外銀 13 ~ 20 行から債務の株式化と資本注入で合計 10 億ペソの資金支援を受け経営再建の目処がついたと報道されている。一方、同行のウルグアイ現地銀行は現地金融当局の命令で 90 日間の営業停止となった。

「シュレーダー首相来亜」

中南米 3 カ国を歴訪していたドイツのシュレーダー首相は 2 月 14 日アルゼンチン入りし、ドゥアルデ大統領と会談、会談の中で IMF の支援を前提にアルゼンチンを支援する用意があることを表明した。

「メルコスル首脳会議」

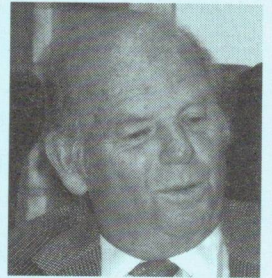
メルコスル加盟国 4 カ国に加え準加盟国のチリ、ボリビアの各国首脳によるメルコスル首脳会議が 2 月 18 日、ブエノスアイレスのオリーボスで開催された。会議後、国際金融機関に対しアルゼンチン経済情勢の理解を求める内容の大統領宣言を発表した。同時に発表された首脳声明で、マクロ経済調整の促進、2002 年 6 月までのアンデス共同体との FTA 交渉の終結などが謳われた。また、メルコスルでの紛争処理解決を規定したオリーボス議定書が採択された。

インタビューこの人 (9)

「新生アルゼンチン」が芽生えている

「ラ・ナシオン」紙編集局長 バルトロメ・ミトレさん

共和国初代大統領バルトロメ・ミトレの直系。1870年（明治3年）にミトレ氏によって創設されたアルゼンチン屈指の高級紙「ラ・ナシオン」の取締役としても経営に参画。米州新聞グループ（GDA）代表。このたび外務省の招待で初来日。広島、京都視察、歌舞伎、生け花鑑賞、わが国のジャーナリズム関係者との懇談などの合間にアルゼンチンの現状をどう見ているのかを聞いた。



— 初来日がちょうど桜満開の時期でした。

「幸運でしたね。美しい日本の自然を満喫しました。多くの種類の樹木が日本の自然を豊かにしていることを知りました。同時に新幹線に乗って日本の科学技術の一端も体験しました。アルゼンチンでは考えられない正確な運行には驚きました」

「広島では原爆による惨状の全貌がわかり、強いインパクトを受えました。あの当時はペロン政権の言論統制で「ラ・ナシオン」は毎日6ページしか発行を許されず、原爆投下の詳細が分かりませんでした。原爆を投下したパイロットの一人が、ブエノスアイレスの修道院で12年も孤独の生活をしていたことをご存知ですか」

— 原爆が投下された頃のアルゼンチンは世界一豊かな国で、大戦のあと廃墟の日本に、他国に先駆けて小麦や衣料の援助をいただきました。それにしてもいまのアルゼンチンは。

「大変残念です。あの頃のアルゼンチンのGDPは世界第5位でした。しかし広大な国土、豊かな食料と資源、人種差別の無い社会などあまりに恵まれ過ぎたことが、この悲劇の遠因かもしれません。いたずらに政治の混乱が長くつづきました」

「世界が大きく変わってゆくなかで、旧態依然とした政治の貧困がいまの悲劇的状况を作り出しています。しかし若者たちのパワーを中心にアルゼンチンは変わり始めています。古い政治体制とは別に、新しい潜在性、芽生えを明確に感じています。私はこの「新生アルゼンチン」の胎動を実感しています」

— 過去の例から見ると、この混乱でまた軍のクーデターが起きるのは。

「その心配はないと思います。彼らは結局なにも出来ないことを、過去の経験から認識しているからです。そ

してアルゼンチンに民主主義が以前よりまして定着していることも挙げられます」

「その反面、注目すべき社会現象が起きています。先日の反政府デモで「カセロラッソ」という運動が発生しました。これは大衆が鍋を叩いて政府に抗議をするという運動、つまり鍋を預かる女性が主役となって政府に抗議行動をするという世界でも例を見ない、初めての運動です。平和的な抗議運動です。これもアルゼンチンが変わりつつある一つの現象でしょう」

— いまの混乱から脱出するのにどの位かかるでしょう。

「いまのアルゼンチンでは自力での脱出は困難です。IMFをはじめ国際機関の援助が必要です。数年後には、「新生アルゼンチン」が実現するでしょう。国民の意識改革が出来上がるときに曙光がみえると確信します。私はアルゼンチンの未来に決して悲観的ではありません」

— 日本の政治・経済の混乱も同じような悩みをかかえ苦しんでいます。こちらは資源が全く無いだけにより深刻です。さてお好きな色、嫌いな色は。

「スカイブルー。嫌いなのは赤かな。」

— 嫌いな言葉と好きな言葉は。

「戦争。そして好きなのはムヘール（女性）」

— 人生のモットーは。

「自由」

— 日本でお求めになったお土産は。

「家内にキモノ、娘たちにユカタを買いました」

（聞き手 野村 秀治）

私の未来の家

伊波なおみ（日亜学院6年生）

今日は日曜日なので、私は九時に起きました。父は毎日のように、こうえんに行きました。私達はお金がないから、こうえんでいろいろなものを売っています。私はとても古い家に住んでいます。母はきよねんから日本へ行って働いています。

もう十二時になったのにお父さんはまだ帰ってきません。おなかがすいたので何か食べようと思ってれいぞうこをあけました。でもいつものようにれいぞうこにはなにもありませんでした。「しかたがない。お父さんが帰ってくるのをまとう。」

うちにはテレビがないのでいつもなにもすることがありません。だから私はベッドによこになって母がおいていった小さなかわいいはこを出してきて、一人で見ました。はこの中には母の写真や母のものがたくさん入っています。私は母をおもいだしながら中の物を見ていると、ある家の写真が出てきました。その写真の家はとてもしらばでした。写真を見ながらいろいろと想像していると、いつのまにかねてしまいました。

目を開けると私はそのりっぱな家にいました。その家にはいっぱい食べものがありました。大好きな母もいま

した。母はだいどころでおいしい料理を作っていました。「エウヘナなにを食べたいの？」と母がききました。私は口を開けたまま答えられませんでした。

「お母さん、お母さんがいる。」ととてもうれしかった。リビングに行きました。そこには大きなテレビがありました。

「テレビがある、おかしいな・・・」と思いました。私はなにか飲みたくなったので、だいどころに行っていれいぞうこを開けると小さな画面がありました。

「どうしてれいぞうこにテレビがあるの。」と私がきくと、「そこから天気よほうがみられるのよ。」と母はやさしい声で答えました。

私はなにもかも不思議なので、水を手にもったまま飲むのを忘れてしまいました。すると電話がなりました。私はおどろいてベッドからとびおきて、電話に出ました。父でした。

「さっきお母さんと電話で話したよ。お母さん、あした日本から帰って来るよ。」

私はうれしくてうれしくてたまりませんでした。古い家でもいい、お金がなくてもいい、テレビがなくてもいい、お母さんとお父さんのそばにいられたらそれでいいと思いました。

おわり

（ブエノスアイレス日亜学院作文大会金賞作品、日亜学院機関誌 KIZUNA より転載、原文のまま）

アルゼンチンで「鳥唄」大ヒット

アルゼンチン人タレントのアルフレッド・カセーロが THE BOOM（ザ・ブーム）の「鳥唄」を日本語でカバーしている。そのアルバム「Casaerius」はアルゼンチンで大ヒットしている。この曲をワールドカップのアルゼンチンチームの応援歌にしようという動きがあるほどだ。実際ブエノスアイレスのあるテレビ局では毎日放送されている。

意外なことであるが、「鳥唄」は沖縄民謡ではない。沖縄の音楽に魅せられた THE BOOM のメンバー宮沢和史（山梨県出身）が作詞、作曲し、90年代日本でヒットした。若者なら誰でも知っている唄といってもよい。

カセーロは、行きつけの日本料理店で友人のグスタボ東江さんから THE BOOM の CD をたまたま聞かされた時、「この曲が持つ不思議な力を感じ、是非とも唄いたいと思った」そうである。日本語で唄う練習に2ヵ月かけ、意味がわからないまま唄って録音した。その後スペイン語訳を入手したとき、「美しさにびっくりしただけでなく、歌詞の素晴らしさに心臓を打ち抜かれた思いが

した」（らぶらた報知より）という。

カセーロと CD で競演しているクラウディア大城さんは日系3世で、小さい頃から沖縄出身の祖父母から沖縄の民謡を習った。彼女の澄んだ独特の声がこの CD のもう一つの魅力になっている。

カセーロによると、「いま、この国（アルゼンチン）に欠けているのはアルモニア（調和）だ。この唄がそれを与えてくれるはず」とのことである。

「鳥唄よ風に乗れ鳥と共に海を渡れ」という歌詞のように、沖縄の音楽に魅せられた山梨の若者が作った唄が、遠く海を渡り、沖縄ゆかりの日系人に愛され、アルゼンチン人に日本語で唄われているという現実にはカセーロの言うようにこの唄の持つ力強さを感じさせてくれる。

6月のワールドカップではアルゼンチンの試合でこの唄が若い日本人サポーターによって唄われるシーンが見られるに違いない。

（山下 美里）

アルゼンチンの二世 のど自慢日本一（グランチャンピオン）に

～選りすぐりの日本人代表を圧倒～

小さな歌手の大きな大きな舞台だった。

3月8日、東京渋谷のNHKホール。プエノスアイレスからかけつけたバネサ大城さんは、華やかなライトを浴び、大編成のバンドをバックに歌った。沖の漁場で荒波にもまれる恋人よ早くこの胸に帰ってきておくれと歌う「女の漁火^{りょうか}」である。小さな体から溢れ出る情感が舞台と3000人の客席を圧倒する。日本語がよくしゃべれないのと思うのは、応援にきた家族だけだ。客席はまるで気がついていない。

NHKのど自慢のレベルは高い。日本一を決めるこの1年1回の大会に出られるのは、日本各地の大会を勝ち抜いたチャンピオンの中からさらに選び抜かれた14組だけ。それに去年アルゼンチンの大会で優勝したバネサ大城さんが加わった。

華々しい15組の戦いのあと、「優勝バネサ大城！」と発表された瞬間、舞台の上の彼女は、声にならない声で両手で眼を押さえた。

「この歌は、恋人を思う女の人の気持ちに自分がすつと入って行けるんです。その心を歌いました。歌う時はその歌の世界に浸らなければと思っています。日本から送ってもらうCDや音のテープを聞いて練習します。歌

手の真似はしたくないのです。みんなそれぞれのスタイルがありますから、私は歌を自分のものにして歌いたいと思っています」

「亡くなったおじいちゃんが一番の先生でした。今はおばあちゃんです。おばあちゃんにまず歌詞の意味を教えてもらって、のみこんでから歌う練習を始めます」

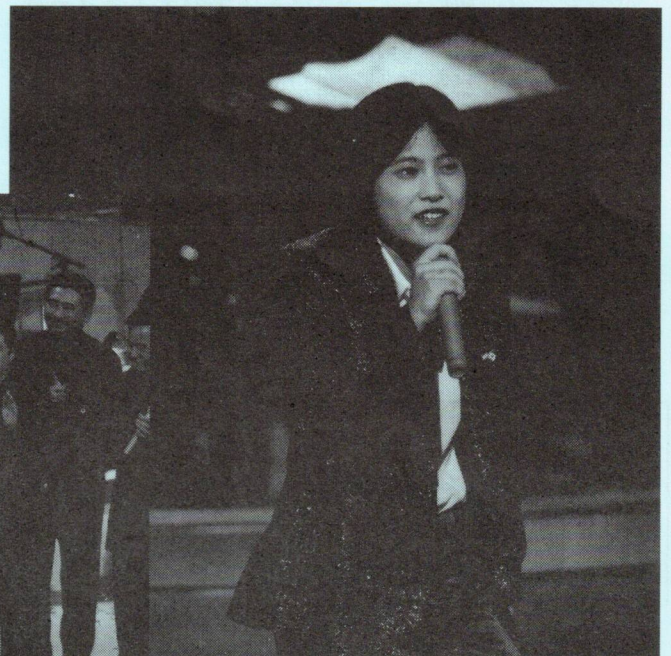
そのおじいちゃんは、沖縄出身で三味線の大家だった。おばあちゃんは、沖縄民謡の踊り手だった。音楽の血がこの娘さんの中に流れている。父親は、4歳の時親に連れられて生れ故郷沖縄からアルゼンチンに移住し、プエノスアイレスで商売をしている。

バネサさんは、今プエノスアイレスの料理学校に通っている。「日本料理のコシネーラ（シェフ）になりたいです。少し日本に残って勉強したいわ。歌と料理、どちらが好きと言われると…やっぱり歌ですね」

（文 河崎 勲）



中央 バネサ大城さん



歌うバネサさん

日本の南国に咲く アルゼンチン国花セイボ

江藤 正喜

ブエノス・アイレスの街は季節ごとに多彩な花で彩られる。街路や市内各所にある公園で見かけるパーロ・ボラッチョ、アカシア、セイボ、ハカランダなどはすべて木に咲く花である。

アルゼンチンを訪れる外国人が強い印象を受ける花はハカランダだろう。春の訪れとともに葉のない木から青紫色の花が咲き始める。花の咲き方と散りざまは桜を思わせる。花が散ると木の下に紫色の絨毯が現れ旅人や市民の目を二度楽しませてくれる。パーロ・ボラッチョは幹がビヤ樽のようで一度見たら忘れられない。姿に似合わず白、赤、ピンクの可憐な花を咲かせ、やがて綿のような実をつける。

セイボは水辺を好み深紅で丸みを帯びた蝶形の花をつける。アルゼンチンの木としては背が低く（10メートル前後）黒々とした幹と刺のある枝が特色。セイボは艶やかさではハカランダに劣るが生命力の強さが買われたのか国花に選ばれた。隣のウルグアイも同じ花を国花としている。川を挟んで隣同士の国が同じ花を国花とするのは珍しいことである。原産地はオンブーと同じくパラナ川流域といわれる。

かつてこの地域に住んでいた先住民のティンブー族(Timbues)は、セイボについて次のような伝説を残している。『酋長はひとり息子がいくつになっても跡取りとしての自覚がないと嘆いていた。一方、息子は父親に信頼されない不満を仲良しのセイボに打ち明けていた。ある日、彼は父親から離れてもっと下流に住む決心をした。筏で川を下りパラナ川の泥土で出来た中州に上陸した。中州の赤い土は故郷を思わせる色だった。彼は来る日も来る日も川から堆積物を運び中州を埋めて島を作った。ようやく人が住め



る島が完成したとき、仲良しのセイボを呼び寄せた。それからは二人協力して更に多くの島を作った。酋長は息子の働きを認め一族を引き連れて新しい島に移り住んだ』

伝説の舞台は今日のエントレ・リオス州、コリエンテス州、サンタ・フェ州に挟まれた流域と思われる。島嶼の多い地域でいかにも島づくり神話の生まれそうなところである。

セイボは明治時代に日本に移植されたといわれ東京以南の温暖な地域に育つ。一般にカイコウズ（海紅豆）又はアメリカ・デイゴと呼ばれる。沖縄の県花デイゴとは同じ属の近縁種である。筆者がカイコウズを初めて見かけたのは広島県因島のあるお寺の境内だった。アルゼンチンの国花が日本のお寺にあるのを不思議に思い、境内で働いている人に尋ねたところ、これはカイコウズという木で特に珍しい木ではないという。花はきれいだが落ち葉が多くて困っているとのことだった。

その後、カイコウズは至るところにあることに気がついた。福岡市内の小学校では大木に育ったカイコウズが子供達の恰好の遊び場になっていた。長崎のグラバー亭では一本のカイコウズが港を見下ろすように立っていた。筆者の故郷宮崎の日南海岸でも元気に育っていた。東京都内でも街路で見かけたことがある。本国では春の花だが北半球の日本では6月から9月が見ごろとなる。こうしてセイボは帰化樹として日本人に愛され、「夢、童心」という花言葉まで与えられている。鹿児島県はカイコウズを県花に指定し、友好都市に県の花として寄贈している。アルゼンチンの人々はセイボが地球の反対側の日出る国でこんなに愛されていることを知っているのだろうか。

(えとう まさき、当協会員、『大草原の呼び声』の著者)

日本国内でスペイン語のニュース

日本国内でスペイン語のニュースが聴けるようになった。

NHK ラジオ第2放送、毎日午後6時10分から20分までの10分間。

NHKの海外向けラジオ・ジャパンの歴史は古いが、日

本国内での外国語によるラジオ放送のきっかけは1995年の阪神淡路大震災。日本に住む外国人にも身の回りで起こっていることを正確に伝えたいとして、翌年英語とポルトガル語のニュース放送が始まった。その後、中国語、ハングル語のニュースが始まり、スペイン語は5番目の外国語ニュースとして、この4月1日から始まった。

ニュースは、その日の日本の主なニュースが網羅されている。アナウンサーは、スペイン語圏で生れ教育を受けた人たち。正統派のスペイン語が聴ける。

NHK ラジオ第2放送 693kHz 午後6時10分～午後6時20分

オペラのテナー追っかけの記

田辺 玲

私は自他ともに認める熱狂的なオペラファンである。動機は単純だ。たまたまテレビで見たドミンゴの自信たっぷりの表情に圧倒され、その後カレーラスのファンを経て、今はルイス・リマというアルゼンチンテナーを追っかけて欧米の歌劇場を駆け巡っている。

ルイス・リマ、ホセ・クーラ、マルセロ・アルバレス、ダリオ・ボロンテと4人の歌手の名前をあげられて共通項はと聞かれてピンとくる方はかなりのオペラ通である。正解はアルゼンチン出身のテナー。4人とも世界中の歌劇場に出演中である。その先達がリマである。リマはカレーラスより少し若く、カレーラスのファンには、彼のアンダー(練習相手・代役)としても知られている。スカラ座を始め、ウィーン、ロンドン、ニューヨークの歌劇場に出ていたほか、地元コロソ劇場でも主役をつとめ、カラヤンと一緒に来日公演もしている。

リマを始めて観たのは、3年前のカルメンの東京公演の時であった。この時はバルツァを見たくて出かけたのだが、ドン・ホセを演じる紅顔のリマの熱演の方に感動してしまった。この感動を分かち合いたいとオペラのサイトに感想を載せたところ、リマとも親しい日本人のオペラファンのおばさまから同じ舞台を観たわよと連絡を頂き、これが縁ですっかり仲良くなってしまった。この方は今や私のオペラの師匠である。そのお友達が熱烈なリマファンで、追っかけをしていた。

このお2人に連れられて初めてリマの楽屋におずおずと足を運んだのが、サンフランシスコのラ・ボエームの公演の時だった。その数週間後、知人を訪ねるためブエノスアイレスのアエロパルケにいたところ、目の前を足早に歩いていくリマを偶然発見した。聞くと、アメリカの就労ビザを取った帰りで、これからコルドバに行き、翌日にはアメリカへ行くとのことであった。機内で彼は小さなピアノのようなもので予習(音取り)をしていたこともあり、また突然の予期せぬ出会いに動転し、このときばかりは、まともな会話ができなかった。

それから、ウィーンやチューリッヒなどリマが出る舞台に熱烈リマファンとともに通い詰めている。CDやビデオ作品で何度も予習をして臨むのだから、見せ場のアリアが決まったときには感無量である。会場の拍手をリードする(一番先に拍手を始める)ことも度々あり、ウィーンのカーテンコールでは花束を投げ、ファン代表の役目も欠かせない。



田辺さんとリマ

一つの公演で2~3回は同じ出し物を観る。同行のおばさまと一緒に楽屋を訪ねる。初日は仕上がり具合を訊いたり、体調を尋ねたり、終わった後は、われわれがとてもよかったと感動を伝えるとリマも喜んでいる。私たちが客席にいるのを知ると張り切って熱演しているように思う。

舞台を離れたふだんのリマはとても気さくなアルヘンティーノだ。話し込んでいると、「そろそろ行かないと飛行機の時間ですよ」と気を使ってくれる。しかし、仕事のことになると骨っぽいところがあり、あの気難しくて腫れ物にさわるように扱われていたカラヤンともことん議論していたということだ。

生の舞台が好きだというリマには、映像やCD作品は少ない。50を越えた今もとても若々しいのは、日々の節制と欠かさないヨガやトレーニングのお陰で、舞台年齢は40前後である。とはいえ、いつも万全の状態で舞台に臨めるわけではなく、時には喉の調子が悪く、酷評されることもある。一時は辞めたと言っていたが、このまま終わって欲しくない我々としては彼のエージェントや歌劇場にメールを出し出演の可能性を探り、彼が出る全ての舞台に駆けつけようと思っただけで追っかけ道まっしぐらである。

そんなリマ氏が今シーズンのコロソ劇場に、「西部の娘」の主役で出ることが決定した(7/30,8/1,4,6,8)! どんな舞台を見せてくれるのか、またどんな楽屋裏なのか今からとても待ち遠しい。オペラ好きな方、アルゼンチンに行きたい方、是非リマ氏の舞台を観に行きませんか?

(たなべ りょう、当協会員、ルイス・リマ・ファンクラブ事務局長 ryo_tanabe@hotmail.com)

Fiesta Argentina

菊地善樹

日本アルゼンチン協会主催による La Fiesta Argentina が3月17日にスペイン語クラスに在籍中のタンゴ歌手 グローリア米山さんのご好意によりご自宅“La casa de Gloria”を開放して頂き、アルゼンチンが大好きという大勢の方々の出席を得て大変楽しい一日を過ごすことが出来ました。

特にアルゼンチン総領事ご夫妻をはじめ大使館からも 沢山の方々が参加されましたし、またプロの女性歌手やダンサーによるタンゴの歌と踊りなど盛り沢山の素晴らしいショーもありました。

この Fiesta 開催を知り、あと約60日後に控えた FIFA ワールドカップのアルゼンチンチーム受け入れ先 福島県からも、アルゼンチン事情の一端を知りたいとして特別参加もありました。

とりわけ参加者を喜ばせたのは、この日の為に用意された珍しいアルゼンチン料理の数々と、未だ日本で販売されていないアルゼンチンワインの差し入れもあり、Fiesta は大いに盛り上りました。

因みに当日のメニューとワインは

Jamon crudo con melon

Empanada carne/jamon y queso

Pollo de noroeste Argentina

Albondiga andina

Puchero porteno

Torta de ricota

Pasta fresca con dulce de membrillo

Vino : Santa Julia (tinto y blanco)

目の前で削ぎながらサービスされる熟成した Jamon crudo、焼きたての Empanada、アルゼンチンでも特注しないとめつたに味わえない鍋料理 Puchero、Postre はバラエティに富んだ Torta の数々、美味しいワインと、素晴らしいショーで会話もはずみ何時しか4時間が過ぎてしまいました。

普段クラスも違い会話の機会もなかつたスペイン語クラスの生徒間の親睦、大使館関係の方々と、また特別参加された方々との会話の機会もあり、楽しく有意義な Fiesta でした。

まだ心名残は尽きませんでしたが、次回の Fiesta を楽しみにお開きとなりました。

(きくち よしき、当協会会員、元トーマン・ブエノスアイレス所長)

理事長、常務理事 決まる

さる5月23日、在京アルゼンチン大使館で開催された当協会の第45回通常総会で承認された「協会事務所の住所変更ならびに理事長、常務理事の新設ほか」に関する定款の変更をうけて、斎藤会長より新役員の指名があり、持ち回り理事会で承認されました。

理事長、常務理事は、つぎのとおり決定し、3月1日就任しましたので、お知らせします。

理事長 野村 秀治 (前専務理事)

常務理事 中野 恵正 (理事)

常務理事 河崎 勲 (理事)

理事長は、会長、副会長を補佐し、会の実務を統括します。

会長、副会長その他の理事は、これまでと同じです。理事長、常務理事を含め役員の任期はすべて2003年の総会までです。

また、前駐アルゼンチン大使の木島輝夫さんが、会長の委嘱により3月1日顧問に就任しました。

子どもたちのワールドカップ

NHK教育テレビの「天才てれびくんワイド」(月～木 18:00～18:45)という番組で今、10カ国対抗の子どもサッカー大会が行われている。

外国人2名に子どもタレント1名が一組になって、サッカーボールを蹴って得点を争うというもの。

我がアルゼンチンチームは、アメリカとの初戦に見事勝利した。次回は韓国戦。放映は6月5日(月)の予定。

¡Vamos Argentina!

(山下)



左よりケビン君、熊ちゃん、マティアス君

案内板

アルゼンチン料理店

「エル・カミニート」

エンパナーダやチョリソ、ギソなど本格的なアルゼンチン料理が食べられる東京でも数少ない店である。ワイン(2,800円~10,000円)はすべてアルゼンチン産だ。店主でシェフの浅井敬三さん(当協会会員)は83年から87年まで、ブエノスアイレスの日本大使館のシェフを務めた。その後も自費でアルゼンチンに渡り、通算10年滞在し、アルゼンチン料理の研究をした。妥協を許さない職人の気骨を持って作る彼の料理は、大使館関係者や日本在住のアルゼンチン人も絶賛している。奥様のクラウディアさんはブエノスアイレス・コングレソ出身のアルゼンチン人で、とても流暢な日本語を話す。タンゴ歌手でもあり、店でタンゴを熱唱することもある。彼女のファンのオジサマ方がカウンターにずらりと

並ぶ様は店の名物になっている。

24席しかないので、事前に予約をしたほうがよい。ワインと料理で1人4~5,000円の予算で十分楽しめる。10人以上のパーティーでは、オードブル2品、チョリソ1/2本、エンパナーダ、炭火焼の牛肉(200g以上)、サラダで3500円から受け付けている。(山下)

住所：東京都港区東麻布 1-12-11

電話：03-3582-9380

交通：都営地下鉄大江

戸線赤羽橋駅徒歩3分

営業時間：18:00~24:00

ラストオーダー：22:30

(日祝休み)

エル・カミニートのHP

<http://fox.zero.ad.jp/>

EL_CAMINITO/



有楽町にオープンスペイン料理店

「ギーニョ・ギーニョ」

店の入口で、モソソたちの「べんべにーだ」の大合唱に驚かされる。Bienvenidaのことらしい。これを我慢して中に入るとそこにはスペインの世界がある。夕暮れのマドリドでふらりと入った店でタパスを頼んでビールを飲んでいたころを思い出す。タパスを日本語で「つまみ」と言ってしまうのは気がひける。「突き出し」かな「あて」かな。いや違うな。中国の人たちが「小菜」と呼ぶ。中味は別として、あの言い方だなど思ったりする。この店にはいろいろなタパスがある。「ポロねぎ」を発見した時はうれしかった。

300人入る大きな店の上をごとごとと山手線の電車が通り過ぎていくらしい。それは気にならない。

シェフのオスカーさんは、バルセロナのホテルの息子。ロンドン、ニューヨーク、パリなどで修行した。ニューヨークでは「ピエール」にいた。「スペイン本来の料理は、日本人には強過ぎるようです。あちらでは、ガーリック、ハーブも沢山入れるし、サフランもどっさり入れます。ここでは日本人に合うように料理します。」

“Fideua”(フィデウア)という料理は米の代わりに短いパスタを使ったパエージャ。パスタが皿の上で総立ちになっている。1人前1300円。7~8年前スペインで始

まった。現代のスペインのシェフは、昔ながらのパエージャとサングリアだけの料理には満足していない。そのスペインの新しい息吹を伝えて行きたいという。

昼は1500円。夜は3500円から5000円。単品タパス600円から1000円。グループで訪れて何品かを取ってシェアするのが賢明。ここにしかないという超高級スペインワインもある。

日本アルゼンチン協会会員は会報持参でスペインのスパークリング・ワイン(カヴァ)グラス1杯無料サービス。(河崎)

住所：東京都千代田区有楽町 2-9-1

電話：03-5219-2299

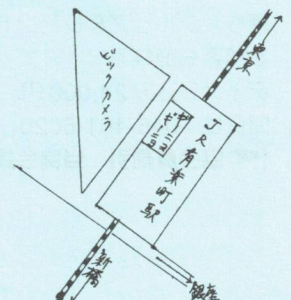
交通：JR有楽町駅

営業時間：11:00~14:00

17:00~22:00

ラストオーダー：22:00

(土日)11:00~15:00



■ ブエノスアイレスのマリア

ピアノソ作曲 フェレル台本のオペラ ミルバがマリアを演じる

スペイン語上演/日本語字幕付

5月16日(木)、17日(金) 19:00

Bunkamura オーチャードホール

5月18日(土)、19日(日) 15:00

Bunkamura オーチャードホール

S 12,000円 A 10,000円 B 8,000円 C 6,000円

学生席 4,000円

【👉協会員割引 S、Aは下記問合せ先にて購入時1,000円引】

問合せ：ジャパン・アーツ TEL: 03-3499-9670

後援：アルゼンチン大使館

■ ホセ・クーラ「トスカ」

6月1日(土) 神奈川県民ホール

6月5日(水) 7日(金) 9日(日) NHKホール

問合せ：フジテレビ・コンサート事務局

TEL: 03-5500-8267

■ FIFA ワールドカップ

6月2日(日) アルゼンチンVSナイジェリア

(茨城 鹿島スタジアム)

6月7日(金) アルゼンチンVSイングランド

(札幌 ドーム広場)

6月12日(水) アルゼンチンVSスウェーデン

(仙台 宮城スタジアム)

■ カルロス・ラサリ楽団

「ロス・ソリストス・デ・ダリエンス」

指揮・バンドネオン カルロス・ラサリ

歌 ワルテル・グティエレス

踊り シルビア&レアンドロ アリエル&エステル

6月18日～7月3日 全国15か所で公演。

問合せ：オフィス・アルファ 052-930-4333

■ ヨコハマタンゴ ブエノスアイレス

(ディナーショー&ダンスパーティー)

6月27日(木) 17:30～21:15

パンパシフィックホテル横浜

タンゴ カルロスラサリ楽団

指揮・バンドネオン カルロス・ラサリ

歌 ワルテル・グティエレス

踊り シルビア&レアンドロ アリエル&エステルら

参加客も踊れる

ディナー込み24,000円

問合せ：045-461-6020 ユニバーサルダンスアカデミー

【👉協会員割引 当協会員は、2,000円割引】

■ 小原みなみタンゴの誘い

7月3日(土) 19:00 神奈川県民ホール

指定席 6,000円 自由席 5,000円

【👉協会員割引 当協会員は、指定席、自由席とも10%割引】

問合せ：オフィス小原 045-712-0097

■ アルゼンチン大使館ホームページ

www.embargentin.or.jp/omote.html

■ ブエノスアイレス日刊紙のホームページ

La Nacion www.lanacion.com.ar

Clarín www.clarin.com

世界の新聞に関する情報は <http://www.wideweb.com/>

■ アルゼンチンワイン新発売

3月の会員懇親会の席上試飲に供された新しいワイン「サンタジュリア」が近く発売になる。一本850円。

問合せ先：サッポロビール(株) ワイン洋酒事業部

TEL: 03-5423-7222 (担当 福地さん)

■ シニア海外ボランティア募集のお知らせ

国際協力事業団(JICA)では、アルゼンチン他中南米でのボランティアを含むシニア海外ボランティアを募集している。あなたの経験をアルゼンチンで生かしては如何。募集期間4月10日より5月20日まで。

問い合わせ先

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24

JICA 広尾訓練センター内

シニア海外ボランティア事業係

TEL: 03-3406-5273

ホームページアドレス：www.jica.go.jp

日本アルゼンチン協会会報 36号

2002年4月22日発行

発行人 野村秀治

編集長 河崎 勲

発行所 社団法人 日本アルゼンチン協会
105-0004 東京都港区新橋 1-17-1
新幸ビル

電話：03-3501-4684

FAX：03-3595-3932

Eメール：argentina@nifty.com

印刷所 株式会社 アイデア・インスティテュート